



「在日」文学再考 —作家・温又柔さんを迎えて—

2023 年 1 月 21 日[土] 9:00-11:00 (JST)
22 日[日] 9:00-11:00 (JST)

場所：大阪大学豊中キャンパス 文法経本館2F 大会議室 ([Google Maps](#))

Hybrid

趣旨

2022年は、作家李良枝(1955-1992)がわずか37歳で亡くなってから、30年目にあたる年でした。没後30年を記念して、『李良枝セレクション』(白水社)が刊行されましたが、同書を編み解説を執筆したのは、作家の温又柔さんでした。日本で生まれ育ち日本語で創作した在日コリアン女性作家李良枝の『セレクション』を「台湾生まれ、日本語育ち」の女性作家温又柔さんが編集したのは、偶然ではなく、そこには深い共感が働いていたことが、解説のなかで表明されています。

本イベントでは、温又柔さんによる李良枝の読みを出発点としつつ、世界各地で李良枝を読んでいる研究者が意見を交わすことで、「在日」文学をより広いコンテキストのなかで再考することを試みたいと思います。多くの方がこの再読の試みに参加して下さることを期待しています。

申込方法 (事前登録必須)

下記のサイトから1月19日(木)16時JSTまでに参加登録をお願いいたします。

<https://forms.office.com/r/nSHS8y8RsN>



お問い合わせ先

本件についてのお問い合わせは、
gjs-eri@office.osaka-u.ac.jp 宛てにお願いいたします。

DAY 1 (1/21)

9:00-11:00

第1部 キーノートスピーチ

◆演題

「言葉の居場所を探して」

◆講演者

温 又柔 (作家)

◆司会

渡邊 英理 (大阪大学大学院人文学研究科 准教授)

DAY 2 (1/22)

9:00-11:00

第2部 パネル・セッション 李良枝再読

◆発表(各15~20分)

山崎 信子 (リーハイ大学 助教授)

Catherine RYU (ミシガン州立大学 准教授)

康 潤伊 (創価大学 総合学習支援センター 助教)

趙 寛子 (ソウル大学日本研究所 副教授)

◆コメント

温 又柔 (作家)

渡邊 英理 (大阪大学大学院人文学研究科 准教授)

◆司会

宇野田 尚哉 (大阪大学大学院人文学研究科 教授)

ニコラス・ランブレクト (大阪大学大学院人文学研究科 助教)